

平成 30 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 公明党

氏名 中村益則

項目	研修費		
費目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	支 出 内 容
1	7 / 11	103,440	全国地方議会サミット2018 旅費・宿泊費(東京都新宿区) (日程、場所等は調査視察等届出書等に記載)
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
小計		103,440	備 考
合計		103,440	

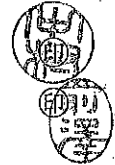
※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

第3号様式 (第6条、第8条関係)

平成30年6月18日

会派名 公明党
代表者名 前澤時廣 様

氏名 中村益則
前澤時廣



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 中村益則 議員、前澤時廣 議員
- 2 期間 平成30年7月11日(水)～平成30年7月12日(木)
- 3 場所 東京都新宿区
- 4 目的及び内容 全国地方議会サミット2018
- 5 経費 103,440円
【内訳は、旅費額計算書(第4号様式)に記載のとおり】

第4号様式 (第6条、第8条関係)

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎								
行	7/11	八戸駅発	9:05	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考				
き	7/11	東京駅着	12:04	早見表								
帰	7/12	東京駅発	17:20									
り	7/12	八戸駅着	20:12									
経路・滞在地 7月11日(水) 9:05 八戸駅発(はやぶさ12) 12:04 東京駅着 13:00~17:30 全国地方議会サミット2018 議会のチカラで日本創生 [会場] 早稲田大学大隈記念講堂大講堂 (東京都新宿区戸塚町1-104) <都内宿泊> 7月12日(木) 9:30~16:00 前日同様セミナー 17:20 東京駅発(はやぶさ33) 20:12 八戸駅着				鉄道運賃		631.9k	9,610	17,280	八戸⇄東京			
				急行料金		2	6,160	12,320	八戸⇄東京 631.9K			
				特急								
				特別車両料金		2	4,110	8,220	八戸⇄東京 631.9K			
				航空運賃								
				バス運賃								
				宿泊料		1	13,900	13,900				
				小 計							51,720	
				合 計 (小計×人数)							103,440	2名

第5号様式（第6条、第8条関係）

平成30年7月21日

会派名 公明党

代表者名 前澤時廣 様

氏名 中村益則
前澤時廣



調査視察等報告書

平成30年6月18日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会
政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告しま
す。

- 1 旅行者 中村益則 議員、前澤時廣 議員
- 2 期間 平成30年7月11日(水)～平成30年7月12日(木)
- 3 場所 東京都新宿区
- 4 概要 別紙のとおり

調査の概要

報告者 中村益則

- 1 主催 ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟 マニフェスト大賞実行委員会
- 2 日時 平成30年7月11日(水) 13:00~17:30
平成30年7月12日(木) 9:30~16:00
- 3 場所 早稲田大学大隈記念講堂(東京新宿区)
- 4 研修名 全国地方議会サミット2018
(地方創生の展望、議会力強化のための議会事務局の変革、政策を実現する議会へ、多様性ある議会に向けた実践と課題等)

<研修内容のポイントについて>

基調講演として、冒頭、早稲田大学名誉教授で元三重県知事の北川正恭氏から県知事時代の取り組みが紹介され、地方分権の推進としてPDCA、マニフェストの導入など新たな仕組みを作り行政改革を進めてきた事例の紹介があった。講演、ディスカッションでは、元総務大臣、片山善博氏と熊本市長、大西一史氏との、真の地方創生とは何か、について討議が行われた。課題整理として、地方創生時代に求められる議会力について、山梨学院大学教授の江藤俊昭氏から講演があった。パネルディスカッションでは、議会力強化のための議会事務局の変革について、東京都羽村市議会事務局長の小林宏子氏と滋賀県大津市議会事務局長の清水克士氏による取り組みについての紹介があり、意見交換会も行われた。2日目は先進事例の報告があり、地方創生をリードする議会へ、をテーマに福島県会津若松市、東京都あきる野市、愛知県犬山市、岐阜県可児市の各議長から、議会改革の事例が紹介された。先進事例報告2は政策を実現する議会へ、のテーマで東京都議会議長と横浜市会議長による条例マニフェストと議会改革、議員提案条例による政策実現について報告があった。早稲田大学教授の中林美恵子氏からは、海外の議会制度から議会の多様性を考える、とした講演があった。パネルディスカッション、多様性ある議会に向けた実践と課題について、東京都武蔵野市、多摩市、神奈川県茅ヶ崎市の女性議長が、女性からの視点で取り組んだ事例や課題について討議が行われた。最後に、北川正恭氏から、政策型選挙の実現に向けて、として提言、総括が行われた。

<研修を受けての所感について>

議会のチカラで日本創生と言うテーマで開かれた今回のセミナーは、地方創生の時代に求められる議会力が問われていると感じた。地方分権推進法が制定され、国から各地方がそれぞれ地域にあった手法で、人口減少問題などを中心に様々な政策が行われてきた。その成果を検証し更なる対策を講じていく事も議会として取り組むべき課題であると感じた。一議員として地域の発展と活性化を目指し、また市民生活の向上などを掲げて日々活動をしているが、今回のセミナーを通し、議会としての機能の充実、委員会としての役割などチームとしての活動について学ぶことができた。また、議会事務局との連携で災害時の議会BCPの立ち上げなど先進事例は参考になった。議会は長年の慣例に基づいている部分が多く新たな取り組みに刷新していかなければならないと強く感じた。どの先進事例の他都市も改革派の首長、議長、事務局、そして連なる議員が男女、会派を問わず、一つになり地域主義に徹し、市民の声を大事にしていることが共通している。地方創生に求められる議会力として、住民自治の根幹としての議会。議会はどこにいてどこを目指すのか。政策サイクルの理論と実践。課題の共有化などについても確認しあった。論点として地方が国を変える、を超え、地方議会が地方を変え、国を変えるとの言葉があり、議会の作動の前提は議員の情熱、判断力、結果責任が大事であり、議会間、議員間、事務局間、住民間、研究者間の連携が必要であるとの結論であった。議会改革として、市民に開かれた議会、市民の声を大事にする議会、その上で議会活動や議員活動を知っていただく機会を増やして行きたいと思う。また、条例の作成や議案についての考え方も積極的に取り組んで行きたい。最後に今後の選挙制度の方向性として話があり、政策ビラの解禁や候補者の情報源、20年後の社会などについて、意見がありました。地域を作るのは議会であることの認識を強くしたところである。片山氏が紹介した積小為大という言葉が印象的であった。小さな積み重ねが大きな成果につながるの意味。しっかりと地域発展の為の議員として役割を果たして行きたいとの思いを強くしたセミナーであった。

今後検討して行きたい事項

- ・議会BCP 災害対応マニュアルの策定
- ・議場を使用した報告会やイベント
- ・委員会としての調査提言